

## 平成24年三重県議会10大ニュースの発表について

三重県議会10大ニュースは、県議会の取組内容を広く発信して県議会への関心を高めるとともに、県議会への参加意識の高揚を図る観点から、県民参加の手法を活用して選定を行っています。

### < 選定結果 >

以下の取組を平成24年三重県議会10大ニュースとして選定しました。

議員報酬等に関する在り方調査会からの報告書提出(1月、6月)

宮城県の東日本大震災復興基金に寄附(2月)

みえ歯と口腔の健康づくり条例の制定(3月)

東日本大震災で発生した災害廃棄物の広域処理への対応(3～6月)

議員報酬及び政務調査費に関する検討ワーキンググループの設置(9月)

定例会の招集回数を年1回に(通年議会の導入)(10月)

三重県飲酒運転防止に関する条例検討会の設置(10月)

みえ現場 de 県議会「もうかる農業への女性参画」の開催(10月)

三重県議会が議会改革度調査で第1位(11月)

第7回全国自治体議会改革推進シンポジウムの開催(11月)


### < 選定方法 >

1. 10大ニュースの候補として20項目をリストアップ
2. 県民による投票(e-モニター制度を活用)を実施(11月22日～12月9日)
3. 11～12月議会の本会議傍聴者による投票を実施(11月22日～12月6日)
4. 県議会議員による投票を実施(11月26日～12月6日)
5. 正副議長が、県民投票(e-モニター、傍聴者)および議員投票の結果を参考に総合的に判断して10大ニュースを決定

平成24年三重県議会10大ニュースの投票結果

項目	合計		内訳					
	得票数	得票率	e - モニター		議員		その他(傍聴者等)	
			得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
1 三重県議会トップセミナーの開催	143	15.7%	125	14.9%	15	30.0%	3	13.6%
2 議員報酬等に関する在り方調査会からの報告書提出	345	38.0%	304	36.2%	28	56.0%	13	59.1%
3 宮城県の東日本大震災復興基金に寄附	461	50.7%	409	46.7%	44	88.0%	8	36.4%
4 市町議会と県議会との交流・連携「全体会議」の開催	178	19.6%	168	20.0%	7	14.0%	3	13.6%
5 みえ歯と口腔の健康づくり条例の制定	150	16.5%	109	13.0%	32	64.0%	9	40.9%
6 東日本大震災で発生した災害廃棄物の広域処理への対応	591	65.0%	573	68.3%	11	22.0%	7	31.8%
7 県議会新体制の発足(常任委員会の組織改正、副議長、正副委員長等の選出)	109	12.0%	95	11.3%	10	20.0%	4	18.2%
8 スポーツ振興対策調査特別委員会の設置	173	19.0%	158	18.8%	14	28.0%	1	4.5%
9 議員提出条例検証特別委員会の設置	82	9.0%	65	7.7%	11	22.0%	6	27.3%
10 三重県議会基本条例の一部改正	131	14.4%	105	12.5%	14	28.0%	12	54.5%
11 「平成24年版成果レポート」に関する知事への申し入れ	90	9.9%	79	9.4%	8	16.0%	3	13.6%
12 紀伊半島三県議会交流会議の開催	144	15.8%	138	16.4%	4	8.0%	2	9.1%
13 近畿2府8県議会議長会議の開催	137	15.1%	132	15.7%	4	8.0%	1	4.5%
14 公共政策大学院からインターンシップ実習生を受け入れ	134	14.7%	120	14.3%	8	16.0%	6	27.3%
15 議員報酬及び政務調査費に関する検討ワーキンググループの設置	278	30.6%	249	29.7%	20	40.0%	9	40.9%
16 定例会の招集回数を年1回に(通年議会の導入)	206	22.7%	146	17.4%	41	82.0%	19	86.4%
17 三重県飲酒運転防止に関する条例検討会の設置	326	35.9%	300	35.8%	18	36.0%	8	36.4%
18 みえ現場de県議会「もうかる農業への女性参画」の開催	265	29.2%	228	27.2%	29	58.0%	8	36.4%
19 三重県議会が議会改革度調査で第1位	319	35.1%	271	32.3%	36	72.0%	12	54.5%
20 第7回全国自治体議会改革推進シンポジウムの開催	122	13.4%	92	11.0%	23	46.0%	7	31.8%
21 その他	29	3.2%	20	2.4%	7	14.0%	2	9.1%
得票総数	4,413		3,886		384		143	
投票者数	881		809		50		22	

得票率: 得票数/投票者数

 は各投票の上位10項目

 は3つの投票結果の全てが上位10位以内のもの

e - モニター登録者数:1,333人(回答率62.9%)

## < 10大ニュースの概要 >

### 議員報酬等に関する在り方調査会からの報告書提出（1月、6月）

議員報酬や政務調査費の在り方を検討するため、大学教授など5人の外部有識者の構成で昨年設置された「議員報酬等に関する在り方調査会」は、1月30日に中間報告を、6月28日に最終報告書を提出しました。

政務調査費の在り方については、条例本則に定める交付額を約2割引き下げること検討するとともに、議会基本条例を踏まえ、政務調査費の支給対象を会派とすることが提言されました。また、当面着手すべき改善策についても示されています。

この最終報告を受けて、平成25年3月末までに結論を出すよう県議会として検討していきます。



### 宮城県の東日本大震災復興基金に寄附（2月）

県議会では、昨年6月の代表者会議で、東日本大震災の復旧・復興支援のために議員報酬の10%を12か月分、総額で5,110万8千円を拠出することを決定しました。拠出金の使途等については、各会派の代表による検討会での協議結果を受け、全額を宮城県の「東日本大震災復興基金」に23年、24年の2回に分けて寄附することとなり、2月22日に正副議長が宮城県を訪問し、村井知事に寄附金の目録をお渡ししました



### みえ歯と口腔の健康づくり条例の制定（3月）

本県における県民の歯科疾患の状況は、全国で下位の状況にあり、その改善は喫緊の課題となっています。このため、各会派からの委員9人で構成する「三重県歯と口腔の健康づくり推進条例検討会」を平成23年9月に設置し、計10回の検討やパブリックコメント等を経て、条例案を取りまとめました。

条例案は、議員提出議案として2月に提出し、3月19日に可決されました。

この条例では、歯と口腔の健康づくりに関して基本理念を定め、県・県民等の責務や市町等の役割を明らかにし、全ての県民が歯科検診等を受けることができる環境の整備や、フッ化物洗口等の効果的な歯科保健対策の推進といった施策の基本的事項を定め、それらの施策を総合的かつ計画的に推進していくことを目指しています。



### 東日本大震災で発生した災害廃棄物の広域処理への対応（3～6月）

3月16日、国から県に、災害廃棄物（がれき）処理に関する広域的な協力の要請があって以降、執行部の対応状況について把握するため、適宜、全員協議会を開催したほか、執行部が作成した「三重県における東日本大震災の災害廃棄物処理に関するガイドライン(案)」における災害廃棄物の放射線濃度の目安値について、専門的な意見をいただくため、環境生活農林水産常任委員会で参考人を招致しました。



このような活動を行った上で、災害廃棄物適正処理促進事業費を含む補正予算案について、委員会の審査を経て6月27日の本会議で可決しました。

### 議員報酬及び政務調査費に関する検討ワーキンググループの設置（9月）

「議員報酬等に関する在り方調査会」の最終報告の内容について、本県議会の対応を検討するとともに、地方自治法の一部改正に伴い必要になる政務調査費の交付に関する条例の改正案について検討するため、ワーキンググループを設置しました。

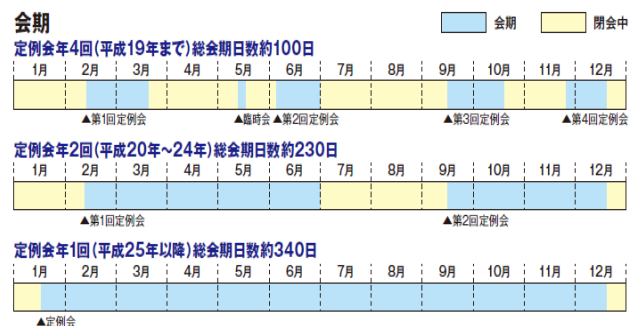


議員報酬については、調査会から条例本則に規定すべき議員報酬額の算定式が示されるとともに、議員によるさらなる検証が求められました。これを受けてワーキンググループでは、議員報酬に関する検討結果を取りまとめ、代表者会議に報告し、この報告をもとに議会としての対応を今後決定していきます。

また、政務調査費については、調査会から示された改革に向けた提言と当面の改善策への対応案及び対応条例の改正素案が代表者会議に報告されました。引き続き、「政務調査費」が「政務活動費」に変わるなどの地方自治法の一部改正を踏まえて、関係規程やガイドライン等の改正を行います。

### 定例会の招集回数を年1回に（通年議会の導入）（10月）

議会の機能を強化するため、会期等の見直しを行い、平成20年から定例会の招集回数を年2回に改め、年間会期日数を増やして、弾力的な議事運営や議員間討議の充実を図ってきました。さらに年間を通じて執行部の行政活動を継続して監視し、災害など不測の事態に対する危機管理態勢を整えるため、平成25年から会期を通年化します。なお、会期の通年化は、栃木県、長崎県に次いで、全国で3県目です。





### 三重県飲酒運転防止に関する条例検討会の設置（10月）

飲酒運転の防止に関し、条例制定に向けた調査・検討を行うため、議員9人で構成する検討会を設置しました。

安全で安心した日常生活を送ることは、県民全ての願いであり、交通事故とりわけ飲酒運転が原因による事故により、生命や財産が失われることはあってはならないことから、今後、県民の視点に立って、調査・検討を進めていく予定です。



### みえ現場 de 県議会「もうかる農業への女性参画」の開催（10月）

県議会では、多様な県民の意見を県議会に取り入れる広聴機能を強化するため、平成22年度から、「みえ現場 de 県議会」に取り組んでいます。今年度の1回目は、10月26日に津市内で開催し、農業などに従事している女性11人を招き、地域の活性化に重要な「農業」について、女性の視点からその現状や課題などの意見交換を行いました。



参加者からは、後継者育成や、規制緩和といった課題が出されたほか、品質を高め差別化を図ったり、収穫した作物を原料とした加工商品を開発するなどの高付加価値化や、マーケティングを学んだり直売を手がけるなど、農業者自ら消費者ニーズを踏まえた農業への転換が必要、との意見が出されました。いただきましたさまざまなご意見については、今後の議会での議論に反映させていただきます。

なお、今年度の第2回は平成25年2月1日に「ものづくり産業振興」をテーマに四日市市で開催を予定しています。

### 三重県議会が議会改革度調査で第1位（11月）

日本経済新聞社産業地域研究所が全国47都道府県議会を対象に実施した、議会改革度に関する第2回調査で、三重県が2010年の前回調査に続き1位となりました。具体的には「住民参加」と「運営改善」の分野での評価が高くなっています。

また、早稲田大学マニフェスト研究所が全国の地方議会を対象に実施した2012年の議会改革度調査でも、三重県が1位となりました。

議会改革度 総合得点上位10議会

順位	都道府県名	総合得点 (100点満点)	総合偏差値
1 ( 1 )	三重	66.3 (57.7)	83.1 (81.2)
2 (21)	鳥取	56.6 (30.9)	73.5 (50.7)
3 ( 2 )	岩手	48.8 (48.1)	65.8 (70.3)
4 ( 3 )	宮城	48.0 (47.2)	64.9 (69.3)
5 (28)	長野	46.0 (29.1)	63.0 (48.7)
6 ( 4 )	長野	44.9 (45.1)	61.9 (66.9)
7 ( 9 )	神奈川	44.6 (35.2)	61.6 (55.6)
8 (20)	秋田	43.5 (31.3)	60.5 (51.2)
9 (27)	宮崎	42.3 (29.4)	59.3 (49.0)
10 ( 6 )	大阪	42.2 (42.2)	59.2 (63.6)

( )内は前回調査の結果  
日本経済新聞社産業地域研究所調査

## 第7回全国自治体議会改革推進シンポジウムの開催（11月）

地方分権にふさわしい自治体議会の在り方と二元代表制を踏まえた改革の方向性について議論し、議会改革についての認識を深めることを目的に開催しました。今回は「地方分権時代における自治体議会の機能強化」をテーマに、全国知事会会長の山田啓二京都府知事が基調講演を行い、それを受けて全国都道府県議会議長会会長の山本教和三重県議会議長から、地方議会が取り組むべき方向等についてコメントした後、廣瀬克哉氏（法政大学法学部教授）のコーディネートにより畠山和純氏（宮城県議会議員）、浅田均氏（大阪府議会議長）、大森彌氏（東京大学名誉教授）、山本議長がパネリストとなって活発な議論を行いました。



### < 参考 >

平成23年 三重県議会10大ニュース

新エネルギー調査特別委員会が調査結果を報告（3月）

病原性鳥インフルエンザへの対応（委員会による現地調査等）（3月）

東日本大震災に関する支援・調査（3月、5月）

統一地方選挙の実施（新たな体制が決定）（4月）

山本議長が全国都道府県議会議長会の会長に就任（6月）

議会運営委員会をインターネット中継・録画配信開始（6月）

議員報酬等に関する在り方調査会を設置（6月）

紀伊半島大水害への対応（9月）

「新たな県政ビジョン（みえ県民力ビジョン）」及び「新たな行財政改革（三重県版事業仕分けを含む）」への対応（9月）

みえ現場 de 県議会の開催「離島振興」「女性の声を県政に」（11月）